

HClO 次亜塩素酸

微酸性電解水

プレフィア PREFIA

Prevent focal infection-Aqua

プレフィアの次亜塩素酸 (HClO) は、低濃度でありながら優れた除菌力と幅広い除菌スペクトラムでメディカル、デンタル分野の感染症予防をサポートしています。

GLOBAL EYE

安心してお使い頂ける微酸性電解水

プレフィア微酸性電解水は、厚生労働省から食品添加物殺菌料として指定されている微酸性次亜塩素酸水の生成方法、成分基準と同様の生成方法、成分基準によって製造されています。

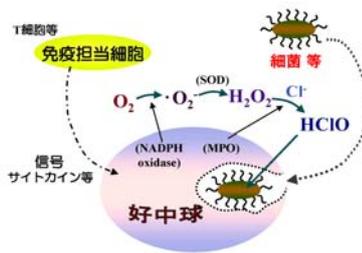
【成分基準】有効塩素濃度 10~30mg/kg PH5.0~6.5

有効塩素濃度中のほとんどがHClO

微酸性電解水には、有効塩素濃度中90~98%の次亜塩素酸 (HClO) が含まれるため、低い有効塩素濃度で効果的な除菌が可能です。従って次亜塩素酸イオンの含有量が極めて少なく、塩素が有機物と接触して生成される発癌物質 (クロロホルム) が発生しにくい点からも安心してお使い頂けます。

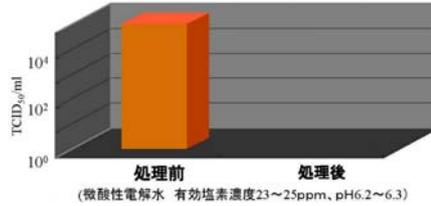
生体内でも生成されているHClO

【HClO】は、好中球内で生成される殺菌成分で、生体内に侵入してきた細菌等を好中球が貪食し、HClOで殺菌し感染を抑えるという重要な働きをも担っています。

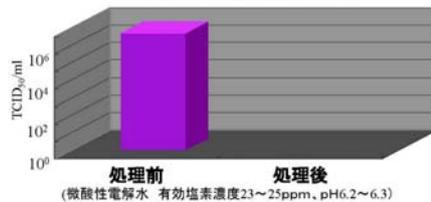


ウイルス不活性試験

インフルエンザウイルスA型 (H1N1)



ノロウイルス (ネコカリシウイルス)



除菌速度が速く、残留しにくい利便性

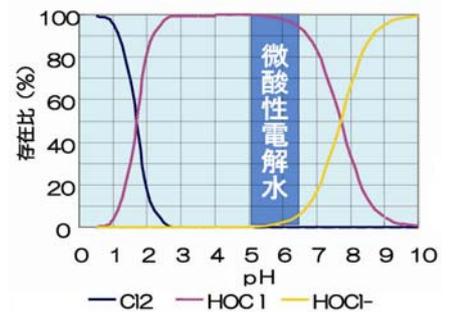
微酸性電解水は、除菌速度が極めて速く、対象表面に付着した水の除菌力はすぐに消失します。従って残留リスクのある除菌対象への施用で利便性に優れた多様な対象に施用が可能です。

利用範囲が広く、低コストで使用できる微酸性電解水

微酸性電解水の利用範囲は広く、医師・歯科医師の指導のもと口腔内除菌・鼻腔・鼻咽腔除菌をはじめ手指の除菌、器具・機材の除菌、噴霧による空中浮遊菌の除菌など多様に利用されています。

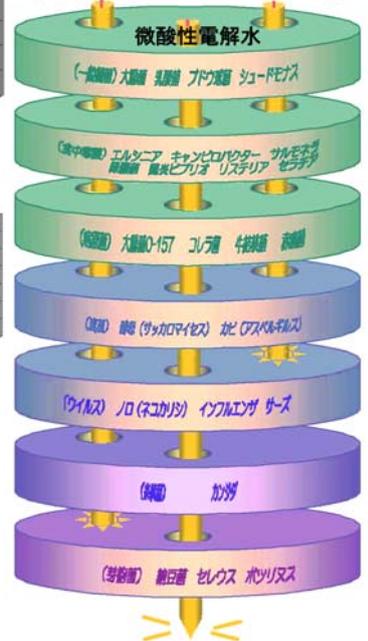
* 微酸性電解水プレフィアの使用方法については、医師・歯科医師にご相談ください。
* 生成装置および技術情報につきましては、下記までお問い合わせください。

PHによるHClO存在比率



除菌スペクトラム

次亜塩素酸 ナトリウム 消毒用 エタノール



有限会社グローバルアイ 〒997-0831山形県鶴岡市大西町26-30

TEL0235-25-4141 FAX0235-25-6364 E-mail:emdondon@chive.ocn.ne.jp

PREFIA 微酸性電解水の除菌効果

Strain (細菌中毒菌)	初発菌数 (CFU/ml)	30秒処理後
腸管出血性大腸菌 (O-157:H7)*	5.2×10^8	0
サルモネラ菌 (Sal. enteritidis)**	2.1×10^8	0
黄色ブドウ球菌 (Sta. aureus)	9.9×10^7	0
枯草菌芽胞 (B. subtilis)***	5.9×10^5	<10 (af. 10min)
腸炎ビブリオ (Vibrio sp.)	3.1×10^8	0
レジオネラ菌 (Legionella pne.)	1.8×10^6	0
緑膿菌 (P. Aeruginosa)	1.5×10^8	0

Strain (細菌中毒菌)	初発菌数 (CFU/ml)	30秒処理後
エルシニア菌 (Yersinia ente.)	4.8×10^8	0
キャンピロバクター (Cam. Jejuni/Coli)	6.0×10^7	0
リステリア菌 (Listeria mono.)	2.5×10^8	0
セラチア菌 (Serratia mare.)	2.9×10^8	0
セレウス菌 (Cereus JCM 2152)	5.2×10^6	0
酵母菌 (Candida albicans)	2.1×10^6	<1 (1min)
黒麹カビ (Aspergillus niger)	1.0×10^4	<1 (1min)
ポツリヌス菌 (Clostridium bot.)	5.1×10^8	0

・*: ATCC43895 ** : IFO3313 *** : ATCC6633
 ・Piamini water : pH 6.2, avail chlorine 16~20ppm

・pH 6.2, avail. chlorine 16~20ppm

ウイルスに対する 微酸性電解水の不活化試験結果

- 検体 : ①微酸性電解水(有効塩素濃度 25ppm pH 6.3)
- 試験ウイルス : ①ネコカリシウイルス(ノロウイルスの代替)
②インフルエンザウイルス A(H1N1)
- 試験概要 : 検体にネコカリシウイルス(ノロウイルスの代替)のウイルス浮遊液*1を添加混合し、作用液とした。室温で作用させ所要時間作用後(①は5分 ②は30分)に、作用液のウイルス感染価を測定した。
予め予備試験を行い、ウイルス感染価の測定方法を検討した。

Stran	対象	log TCID50/ml *2	
		開始時 *3	処理後
ネコカリシウイルス (ノロウイルスの代替)	検体	5.0	< 1.5
	対照 *4	5.0	5.3
インフルエンザウイルス A(H1N1)	検体	6.7	< 1.5
	対照 *4	6.7	6.5

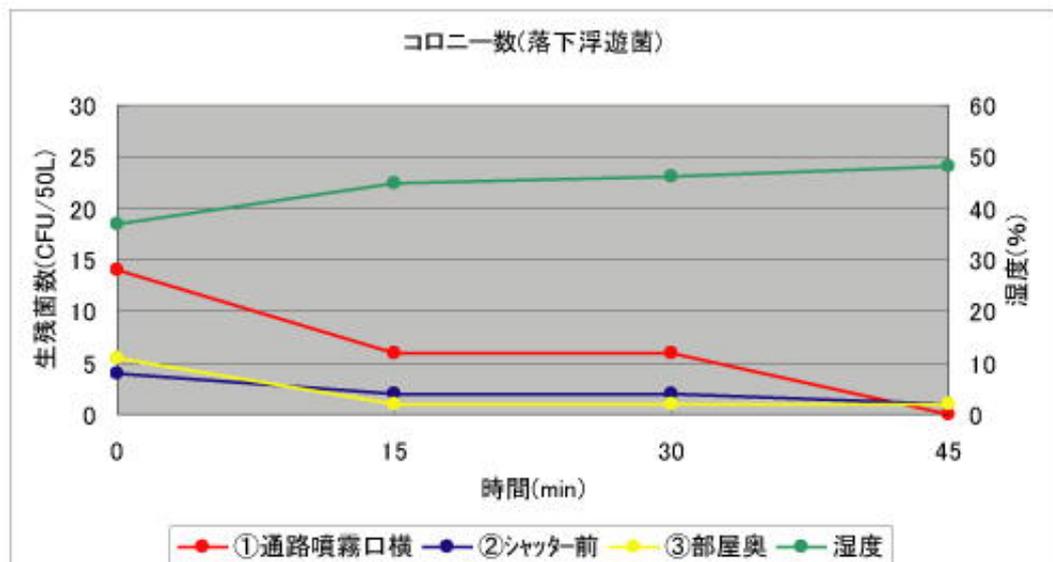
TCID₅₀ : median tissue culture infectious dose 50%組織培養感染量

< 1.5 : 検出せず

- *1 ウイルス浮遊液 : 精製水で10倍に希釈したもの。
- *2 log TCID₅₀/ml : 作用液 1ml 当たりのTCID₅₀の対数値。
- *3 開始時 : 作用開始直後の対照のTCID₅₀を測定し、開始時とした。
- *4 対照 : 精製水

空中浮遊菌テスト結果

微酸性電解水を連続噴霧したまま経時的にエアサンプラーで室内空気をサンプリングし、35~48時間培養後、発生したコロニー数を計測。



PREFIA 医療機関様でのお取扱について

微酸性電解水プレフィアは、

院内での利用のほか来院者の自宅での各種ケア用としても販売いただいております。微酸性電解水の特徴をご理解いただき有効にご活用くださいますようお願い申し上げます。

製品保存方法

密閉容器で遮光また、暗所で保存してください。

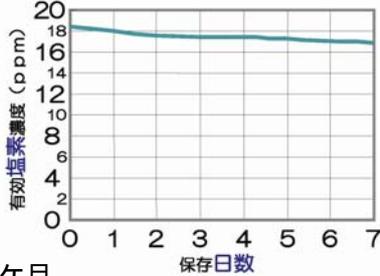
微酸性電解水プレフィアは、PHを微酸性域にすることで安定性を高めておりますが、保存に最も影響を受けるのが紫外線です。密閉容器で遮光また、暗所で保存することで有効塩素濃度が保たれます。

長期保存されたものをご使用になる場合は、試験紙で有効塩素濃度をご確認のうえご使用ください。

密閉遮光、室温で約3ヶ月

冷蔵で約6ヶ月間保存可能です。

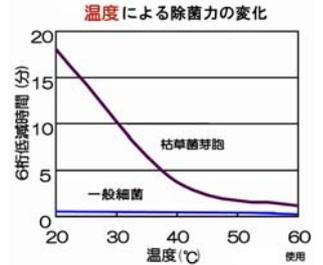
一般密閉容器での保存性(暗所)



水温40 程度で除菌速度(除菌力)が増大

微酸性電解水は、水温の変化によって除菌速度が変化します。ご使用直前に加温(40 前後に)することで除菌力が増大します。

但し、水温が高くなると保存性が低減しますので工夫して御使用ください。右図 - 芽胞菌に顕著な効果が確認されています。芽胞菌以外は室温でのご使用で十分な微酸性電解水の除菌力を発揮しますが、水温を上げることで除菌力が増大します。



微酸性電解水の金属等への影響

以下、鉄製品については水道水より若干錆びやすくステンレスにはほとんど影響がありません。

	金属	樹脂	ゴム
低耐久性	銅、真鍮、青銅、砲金、鉄、アルミニウム	ポリカーボネイト、ポリウレタン、ナイロン、ポリエステル、ポリエステル	ネオプレン、シリコンゴム、ニトリルゴム(NBR)、<EPM、EPDM
中耐久性	SUS304、316、316L、モネル、インコネル、ハステロイ	硬質塩化ビニール、ポリプロピレン、ポリブチレンテレフタレート、高密度ポリエチレン、PET	パイトン、ダイエル、天然ゴム
高耐久性	チタン	テフロン、PTFE、PDPE	カルレッツ、パーフロ

(青字は推奨品)

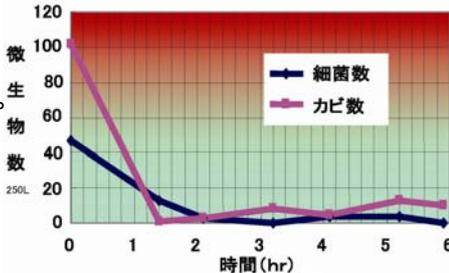
医療施設内の空間除菌

微酸性電解水は、専用の超音波加湿器による空間噴霧で空中浮遊菌を除菌できます。

施設内の感染リスクの高い箇所での利用が効果的です。

また、除菌効果のほか消臭効果も期待できるため院内環境向上に貢献できる利用方法といえます。

微酸性電解水噴霧による浮遊菌データ



部屋容積：30m³ 微酸性電解水有効塩素濃度：20ppm
噴霧量：60ml/hr 微生物数：250個あたり
エアコン送風強運転、締め切り

製品案内



微酸性電解水プレフィア

用途：除菌

使用方法：無調製で使用

規格：

有効塩素濃度10～30ppm

PH 5.0～6.5

内容量：1000ml、500ml

30ml、その他



電解アルカリ水レディア

用途：蛋白質、脂質等の洗浄

(医療機関専用)

使用方法：希釈使用(1000倍希釈)

歯科医院様では、プレフィアとの組み合わせでの使用を推奨

注) 自宅ケア用での提供時は、必ず1000倍希釈品をご提供ください。

規格：PH13

内容量：1000ml

自宅ケア用PH9.0～9.5 内容量：1000ml

微酸性電解水プレフィアは、貴院で製造して頂けます。

低コストで製造できます。来院者へ提供される場合などの量産にご活用ください。

容器・包装等の資材もご提供しております。



微酸性電解水生成装置

アピア60

Apia60は、連続生成方式を採用しており毎時60Lの微酸性電解水を、生成できます。装置サイズはコンパクトで、場所を取りません。

保存ユニットタンクと組み合わせることでさらに多量の微酸性電解水を生成保存することができます。

簡単操作でしかも低コスト微酸性電解水をご利用頂けます。

電源：AC100V 標準能力：毎時60L 重量：2kg

外形寸法：240×180×270(mm) 自動ユニットを除く

販売者

有限会社グローバルアイ

〒997-0831 山形県鶴岡市大西町26-30

TEL0235-25-4141 FAX0235-25-6364

E-mail: emdondon@chive.ocn.ne.jp